

明日はセンター試験。センター試験をきっかけに受験意識を高めていきましょう。

◎明日からセンター試験！

- ◇2016年センター試験の志願者数 56万3765人(+4633人)
現役志願率は過去最高の43.4%
全体に占める現役生の比率 82.0%

◇難関国公立大でも文系学部が人気

大学新卒者の就職状況が好転し、昨年から文系学部の人気が回復。模試動向では、東大・京大では理系学部志望者が減り、文系学部の人気が堅調。北海道大・東北大・大阪大・神戸大・九州大などの難関国公立大でも経済や法などの志望者が増加。その一方農や薬などの理系学部は志望者減少が見られる。

◇首都圏の国公立大（文系学部）志望者は今年の動向に目を向けて

推薦入試を導入した東大が後期入試を廃止。一方京大は特色入試として後期入試が復活。東大志望者は首都圏の国公立大へ動くと思われ、影響が予想される。首都圏内の国公立大を志望する4・5年生は、今年の動向にも注意を向けよう。

◇平均点は上がる予想

今年は過去問による対策を立てられるため平均点は上がるとみられている。国公立大二次試験の出願は、例年、センター試験の平均点が上がれば強気に、下がれば弱気になる。16年は平均点アップが予想されているため強気の動きが見られそうである。

◇予備校の入試分析担当者の見解～新課程の傾向について予想される点～

英語の筆記では多様なジャンルの文章の読解、リスニングではスピードが速くなる会話の聞き取り。国語では文章全体の構成を読み解く力、地歴・公民では地図や資料の読解力、歴史・地理的考察力が問われる可能性が高いとのこと。

◇学部新設、学部・学科改組が多く行われる国公立大

- 〈新設〉宇都宮大・地域デザイン科 千葉大・国際教養 福井大・国際地域
徳島大・生物資源産業 愛媛大・社会共創 佐賀大・芸術地域デザイン
大分大・福祉健康科 宮崎大・地域資源創成
- 〈改組〉東京工業大 学部と大学院を融合した「学院」へと組織を改編 他17大学
- 〈その他〉国公立大教育学部のいわゆる「ゼロ免課程」を中心に、16大学17学部
30学科で募集停止が行われる。

センター試験は、大手予備校のサイトに解答速報が発表され、翌日の新聞にも掲載されます。5年生は1年後を見据えて必ず全員が解き、今後1年の課題を確認しましょう！
4年生も解ける問題はあります。まだ先のことと思わずチャレンジし、自分の力を知りましょう。

◎知っておこう！ 入試に関するQ&A

もし事故や病気などでセンター試験が受験できなくなったら？

事故や病気などのアクシデントが起きた場合は、受験生本人または代理人が、速やかに「受験票」に記載されている「問い合わせ大学」に行き、申請すれば追試験を受けることができる。申請の受付時間、詳しい方法等については、受験票・写真票等と一緒に送付されている「受験上の注意」に明記されている。なお、2016年度大学入試センター試験の追試験は1月23日（土）・24日（日）に実施予定。

センター試験の得点調整とは？

センター試験終了後、大学入試センターでは、各教科で選択科目ごとに平均点を算出する。その平均点に原則として20点以上の差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められた場合には、平均点が低い科目を受験した受験生が不利にならないよう、得点差を調整する。なお、2016年度大学入試センター試験の得点調整実施の有無の発表は1月22日（金）の予定。

国公立大の出願はいつ行うのか？

2016年は1月25日（月）～2月3日（水）の間に行う（国際教養大を除く）。出願する可能性のある大学の願書は、当然それまでに取り寄せておかねばならないので、早めの準備が必要。また、出願校決定には、自己採点結果が唯一の手がかりとなる。確実な出願校決定のためには正確に自己採点することが重要である。

「志願倍率」、「実質倍率」の違いとは？

ひと口に倍率といっても「志願倍率」と「実質倍率」の2種類がある。「志願倍率」とは、「志願者数÷募集人員」のことで、志願者とは実際に大学に出願した人のことだ。「志願倍率」では、その大学の人気度がわかる。一方「実質倍率」は、「受験者数÷合格者数」のことで、実際の試験での競争率がわかる数字だ。

出願はしたものの、試験当日までに第1志望校の合格が決まった受験生などは受験しない場合があり、「志願者数と受験者数が違う」といったことが起こる。また、入学辞退者を見込む大学は、募集人員よりも多めに合格者を発表するため「募集人員と合格者数が違う」ということも起こる。このように「志願倍率」と「実質倍率」では数値も意味も異なるので、単に「倍率」といった場合には、どちらの倍率を意味するのか注意が必要だ。

大学は何校まで出願できるか？

国公立大一般入試（国際教養大など一部の大学を除く）の場合は、前期・中期・後期の各日程から1つずつ、最大3つの大学・学部への出願が可能。また私立大などは、試験日程が重ならなければ出願に制限はない。

「二段階選抜」とは？

一部の国公立大で行われる選抜方法のこと。個別学力検査の前にセンター試験の成績などにより第一段階選抜が行われ、合格者のみが個別学力検査を受験することができる。志望校が二段階選抜を行うかどうか確認しておこう。

1月26日（火）今年度最後の模擬試験

家庭学習日を利用し、準備をして臨みましょう。

4年生は春休みの課題発見のため、5年生は受験学年に向けての模試です。